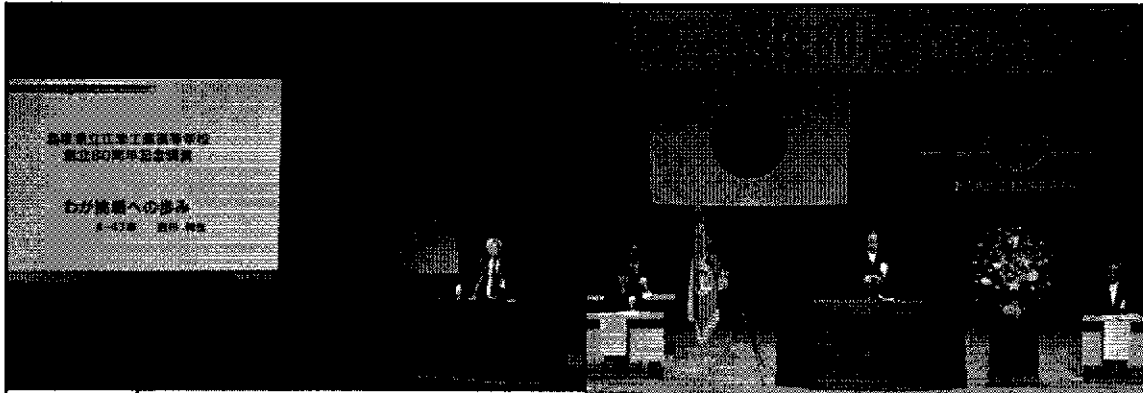


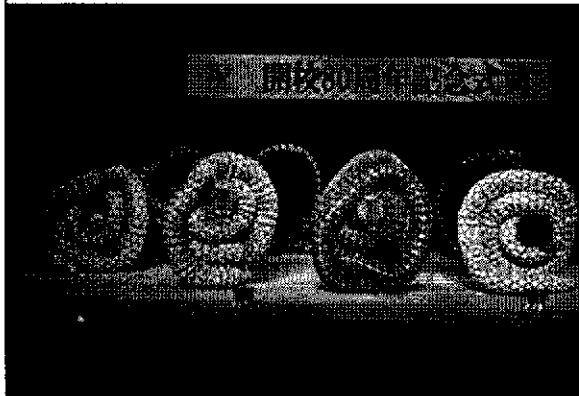
出身中学校別生徒数一覽（平成一七年度～二六年度）

中学校名 \ 年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
江津	40	45	51	47	41	31	33	46	56	52
松平	2	(H15.4 江津中と統合)								
江東	24	26	18	19	13	13	9	7	10	10
青陵	51	44	39	36	34	35	35	37	32	35
桜江	9	10	10	7	5	7	6	11	9	15
浜田第一	33	40	43	56	58	61	46	34	24	26
浜田第二	9	5	9	6	12	13	14	18	17	18
浜田第三	17	10	13	20	19	21	12	19	16	28
浜田第四	3	3	3	2		3	3	5	6	4
浜田東	29	30	26	22	14	13	15	15	13	12
金城	17	14	12	14	11	11	5	4	6	5
旭	5	4	2	2	3	1	1			
弥栄								2	2	3
三隅	5	5	2	1	1	1		1	1	1
川本	1							1	3	3
邑智		1	1	1						
大和	3	2							1	1
羽須美	5	5	4	3	3	4	3	3	2	1
瑞穂	2	4	3	2	2	1	1	1		3
石見						2	2	1		
大田第一	8	5	3	8	9	11	7	15	14	15
大田第二	23	29	24	16	11	11	7	6	5	10
大田第三	2	5	4	4	1	2	2	3	2	2
仁摩	4	7	1		5	5	5	3	3	4
温泉津	6	7	9	8	9	12	12	8	3	1
益田	1						1	1	1	
東陽		1	1	1						
美都	1	1	1		1	1	1		1	1
匹見	2	2	1							
県内その他			1	1	1					
県外	1	2	1	1	1	1			1	1
合計	303	307	282	277	254	260	220	241	228	251



記念講演（西村和也氏）

記念式典（校長式辞）



石見神楽「大蛇」（有福温泉神楽団）



記念式典（感謝状贈呈）

平成26年度 江津工業高等学校
80周年記念
Go to the future
～80年の歴史に新たな1ページを～

10月2日(木) 文化祭
10月4日(土) 体育祭

10月2日(木) 9:20～
10月4日(土) 9:20～

10月2日(木) 11:00～ クラス・文化祭・講演会
10月4日(土) 14:00～ 講演会

10月2日(木) 14:00～ Ray Yamada
10月4日(土) 15:40～ 講演会

10月10日(金) 13:20～14:00
10月10日(金) 14:30～18:30
10月10日(金) 19:00～

10月10日(金) 15:40～18:30
10月10日(金) 19:00～

鳥根県立江津工業高等学校
開校80周年

「Go to the future」
～80年の歴史に新たな1ページを～

10月2日(木) 文化祭
10月4日(土) 体育祭

10月10日(金) 13:20～14:10 (受付12時～)
10月10日(金) 14:20～15:30
10月10日(金) 15:40～16:15
10月10日(金) 18:00～20:00

10月2日(木) 文化祭
10月4日(土) 体育祭

(4) 記念レガッタ大会

・開校八〇周年記念 第31回校内レガッタ大会

期日 二〇一四(平成26)年6月17日(水)

会場 江の川コース(江川橋より下流へ三五〇Mコース)

昭和五九年、開校五〇周年記念事業の一環として「校内レガッタ」と名称を変更し、本校ならではの学校行事として今日まで継続されている。

今年男子35クルー、女子6クルー、保護者2クルー、教職員4クルーの合わせて47クルーが参加し、熱いレースを繰り広げた。

【優勝チーム】

3年男子の部：「アマゾネスの戦士達」(天野太一・秋風亮太・

中島有昌・木村和也・石原克希・今出来紀)

記録：1分54秒57

全学年女子の部：「かまやつ」(下谷菜緒・横山恵利香・長谷美奈・

河野夏樹・山藤真夕)

記録：2分10秒28

2年男子の部：「M2・3号」(船津巽・中川英朗・

濱頭佑斗・向原直志・塚田竜生)

記録：2分4秒28

1年男子の部：「M1D」(湯浅秀斗・森山匠・

新田拓海・黒木夢良・長尾知紀)

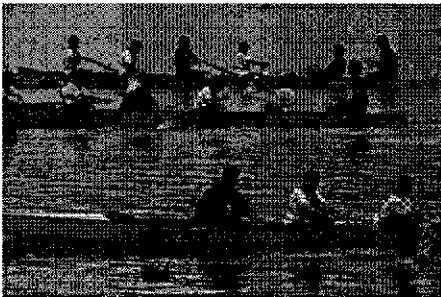
記録：2分3秒39

(5) 記念誌の発行

八〇周年記念事業としての記念誌の発行においては、十年史(追録)としての記録を電子データで残すのみとし、冊子(紙媒体)の発行・販売・配布等は行わないものとした。

この度の記念誌の編集方針は以下の通りである。

- ① 七〇周年記念誌をベースにその後の「十年史」を作成する。
- ② 多くの先生方に参画していただき、専門科の存在を前面に出した工業高校らしい内容を継承する。
- ③ 以後の記念誌の十分な資料となるよう編集、資料収集・保存に努める。



天津工業學校

馬根五

天津工業學校十年



十年紀念

開校八十年

【1910年の動き】

17.2.28	開校70周年記念事業「夢の庭園」工事竣工	4.25	尼崎J.R西日本脱線事故 107人死亡、550人重軽傷
3.22	空調設備取換工事（機械科棟・総合電気科棟）	4	日本の国連常任理事国入りに反対し、中国で大規模な反日暴動勃発
3.23	自転車置き場改築工事	9.11	衆院選で自民党が郵政民営化争点に歴史的圧勝
3.24	寄宿舎自転車置き場改築工事	10.14	郵政民営化法が成立
3.31	管理棟屋上防水改修工事	11.17	マンションなどの耐震強度偽装問題発覚
9.13	屋内消火栓用ポンプ取換工事	10.9	戦後生れ安倍政権が発足
9.16	管理棟耐震補強、体育館落下物対策工事	10.9	北朝鮮が初の地下核実験
10.12	体育館音響装置設置工事	2	社保庁で消えた年金発覚
18.6.27	教室エアコン設置工事	7.29	参院選で自民党惨敗
9.7	公共下水道接続工事	9.12	安倍首相突然の退陣
19.2.8	キューピクル受電設備取換工事	1	中国製冷凍餃子で10人食中毒発生
12.27	渡り廊下鉄骨部塗装工事	6.8	秋葉原で無差別殺人7人死亡10人重軽傷
3.25	自動火災報知器設備修繕	9.1	福田首相突然の政権放棄
20.3.19	かなな盤、パネルソー、シリコン整流器購入		
3.25	CADシステム更新		
6.30	書道教室エアコン設置工事		
12.24	体育館耐震補強工事、体育器具庫新設		

21.1.5	仁科造船所から譲渡された艇庫倉庫利用開始	1.20	オバマ氏が第44代米大統領に就任
3.26	近接地への保育所建設に伴い野球場防球ネット更新	3.23	野球の第2回WBCで日本が連覇達成
3.26	電子計算組織更新整備（総合電気科）	5.25	北朝鮮が2度目の核実験を強行
3.31	3月13日の強風により破損した漕艇用救助艇の更新	8.30	衆院選で民主党が圧勝
3.31	寄宿舎食堂にエアコン設置	8.6	政権交代で鳩山政権誕生
6.29	図書管理システム設置	8.6	一般有権者が刑事事件の公判に加わる裁判員裁判がスタート
8.15	ボート部艇2隻購入	6.13	小惑星イトカワから「はやぶさ」が帰還
22.3.25	西グラウンドサッカー防球ネット新設	7.11	参院選挙で民主党大敗
3.31	LAN実習装置設置（総合電気科）	9.7	尖閣諸島で中国漁船が巡視船に衝突、ビデオ流失騒ぎも
8.9	管理棟手洗い場整備工事	9.27	北朝鮮指導者が3代続き金正恩に決定
9.28	総合電気実習棟避難器具取換工事	3.11	東日本大震災と東京電力福島第1原発事故発生
10.21	電気実習室産業ロボット制御用パソコン取替修繕	7.17	サッカー女子W杯、なでしこジャパン世界一
23.3.25	高周波誘導溶接炉一式設置		
10.21	FMS制御用パソコン取替修繕		
3.30	電動発電機実験装置一式、過電流制動形動力計実験装置一式		
9.30	寄宿舎浴室補修工事		

伊勢市内見学、金閣寺、京都市内活動、
E・デیفエンス

平成22・3・1 10・3 第二三回学園祭「体育祭」建築科(緑組) 二位
建築科第六〇期卒業生二五名

4・9 建築科入学生二七名(内女子一〇名)
9・1 工場見学(建築科二年)二泊三日
なんばグランド花月、奥谷組資料館、
京都市内活動、比叡山延暦寺

9・30 第二四回学園祭より文化祭と体育祭の毎年開催
「体育祭」建築科(緑組) 三位
平成23・3・1 建築科第六一期卒業生一六名

4・1 建築科長に山田晋吾就任
4・9 建築科入学生一八名(内女子九名)
9・7 工場見学(建築科二年)二泊三日
TOTO小倉第一工場、大浦天主堂、
グラバー園、長崎市内活動、ハウステンボス、
JR博多駅、福岡ドーム
10・6 第二五回学園祭「文化祭」
「体育祭」建築科(緑組) 一位

平成24・2・25 第一回学生設計コンクール

CAD部門 最優秀賞 小川 翔太
優秀賞 長埜 至孝

2・16 日本建築学会中国支部優秀卒業設計

平成24・3・1 建築科第六二期卒業生一四名
最優秀賞 下山 貴大
優秀賞 奥村 壮

4・10 建築科入学生一七名(内女子五名)
9・5 工場見学(建築科二年)二泊三日
京都駅、京都市内活動、大阪城、大阪ドーム、
積水ハウスなつとく工場、大阪駅、海遊館、
堺地方合同庁舎建設現場

10・3 第二六回学園祭「文化祭」
「体育祭」建築科(緑組) 三位
10・29 県内現場見学(一年)

平成25・2・2 第二回学生設計コンクール
松江市立宍道中学校新築工事
中国横断自動車道吉田除雪基地新築工事
CAD部門 最優秀賞 山下 陸
優秀賞 長見 里歩
2・13 日本建築学会中国支部優秀卒業設計
最優秀賞 今田明日香
最優秀賞 佐々木 愛
最優秀賞 近重優香里

平成25・3・1 建築科第六三期卒業生二二名

4・9 建築科入学生三二名(内女子一四名)

学科改編の流れ

平成一・二年度より始まった学科改編に伴うコース制の導入において、建築科は「設計計画コース」と「施工技術コース」を新設し、地元企業に大きく貢献していた。しかし、少子化の影響が建設業への興味・関心がなくなつたのか、平成一八年度入学生以降大きく定員割れをおこすようになってきた。県内の高校がクラス減になつていゝ中で、江津工業高校建築科の存在も危ぶまれる状況であり、その定員割れは平成二四年度入学生まで続いた。何とか生徒の確保を考えた時に、より興味・関心のあるコースに改めるべきと考え、平成二五年度入学生より「建築コース」と「インテリアデザインコース」に変更した。その結果、定員の四〇人には満たなかつたものの、男子一八名女子一四名の計三二名が一期生として入学した。

コースの特徴

建築コース

将来建築士、建築施工管理技士を目指した本来の建築科の基本コースで、建築技術者を目指す人材を育成する。

インテリアデザインコース

建築科の基本を習得した上で、将来インテリアコーディネーター・インテリアプランナー並びに建築デザインを目指す人材を育成する。

10 教育課程表 (平成 25 年度入学生)

普通科目

教科	科目	標準 単位数	学年別単位数			
			1年	2年	3年	計
国語	国語総合	4	3	2		5
	現代文A	2			2	2
歴史 地理 公民	世界史A	2	3			3
	地理A	2		2		2
数学	現代社会	2			2	2
	数学I	3	3			3
	数学II	4		2	2	4
	数学A	2		2		0~2
	数学B	2			2	0~2
理科	科学と人間生活	2	2			2
	化学基礎	2		2		2
体育	体育	7~8	2	2	3	7
	保健	2	1	1		2
芸術	音楽I	2				
	美術I	2	2			2
	書道I	2				
外国語	コミュニケーションI	3	3	2		5
	英語表現I	2		2	2	0~4
	英語会話	2			2	2
家庭	家庭総合	4		2	2	4
共通教科・科目単位数計			19	15~19	13~17	47~55

専門科目 (建築科)

教科	科目	標準 単位数	学年別単位数			
			1年	2年	3年	計
工業	工業技術基礎	2~6	2			2
	課題研究	2~8			3	3
	実習	4~12		2	2	4
	製図	2~11	2	3	3	8
	情報技術基礎	2~4	2			2
	建築構造	2~6	2	2		4
	建築計画	2~8	2	2		4
	建築構造設計	2~7		3	2	5
	建築施工	2~5		2	2	4
	建築法規	2~4			2	2
	インテリア計画	2~6		2		2
	インテリア装飾	2~6		2		2
	インテリアインテリア	2~6			2	2
	デザイン史	2~4			2	2
専門教科・科目単位数計			10	10~14	12~16	32~40
ホームルーム活動選当り時数			1	1	1	3
単位数及び選当り時数の合計			30	30	30	90

<2年>進学コースは数学A72、英語表現I42を選択
<3年>進学コースは数学B72、英語表現I42を選択

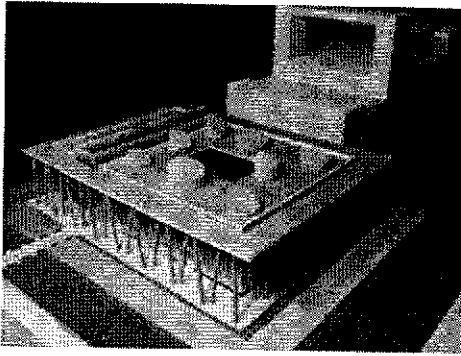
(4) 卒業設計製図への取り組み

従来、三年生になると最終課題として卒業設計製図に取り組む。これは本校に限らず、全国の高等学校、短大、専門学校、大学でも行われている、建築科を学ぶ学生にとっての最大課題である。

生徒の能力によって、住宅から特殊建築物までさまざまな課題で挑戦をさせている。近年、そのレベルが格段に上がり毎年、日本建築学会中国支部の優秀卒業設計に出品し、毎年最優秀賞を受賞している。

特に平成二四年度は本校から3名の最優秀賞を出し、中国地方でも一目置かれる存在になっている。今年度も負けじと三年生は取り組んでおり、その成果に期待がもて、出上がりが楽しみである。

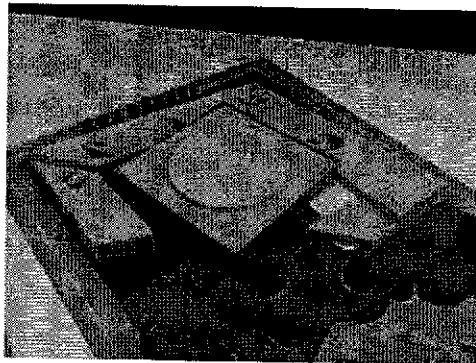
平成二三年度



最優秀賞

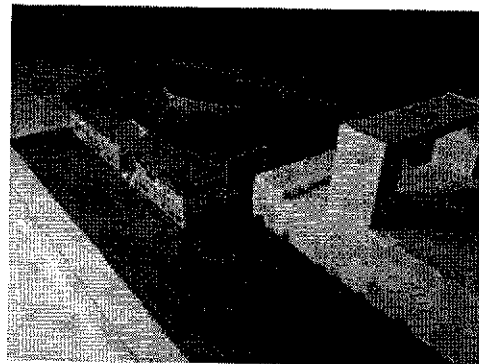
「江津市図書館・歴史民俗資料館」
～江津市民の思いを船に乗せて～
下山 貴大

平成二四年度



最優秀賞

「24時間図書館」
～光陰の交ざる空間～
今田 明日香



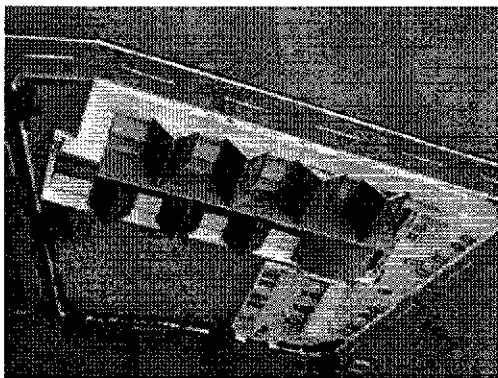
優秀賞

「江津市図書館・歴史民俗資料館」
～市民を守る要塞～
奥村 壮

優秀賞

～地下空間の保育園～

大倉 銀太

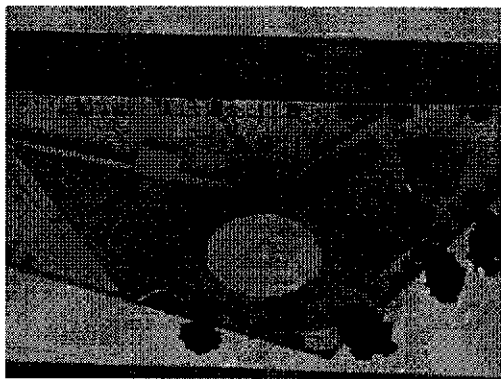


最優秀賞

「石州瓦資料館」

～登り窯で瓦景観拡大を目指す～

田中 俊輝



最優秀賞

「軽費老人ホーム」

～家族が「ほっ」とできる顔いの羽～

近重 優香里

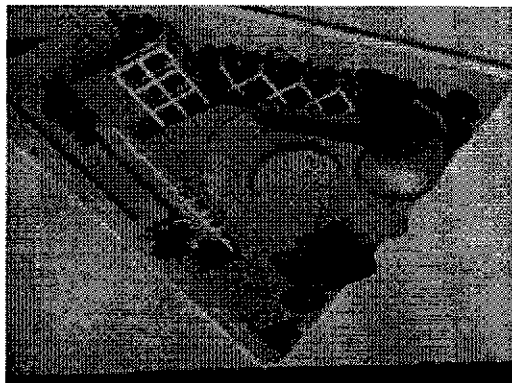


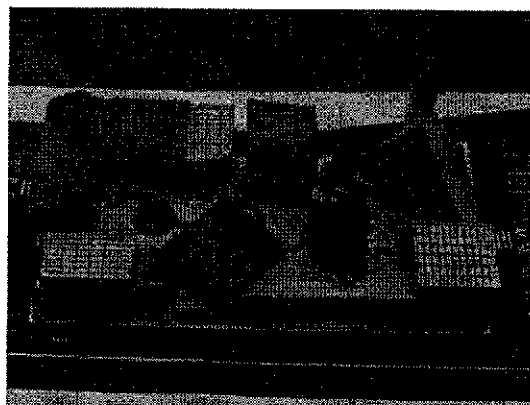
最優秀賞

「浜田市立神楽ホール」

(はまだどんちっちホール)
～welcome! 神話の世界～

佐々木 愛





優秀賞
「教会」
～町の中に街～

長見 里歩

(5) 学生コンクールへの取り組み
平成二三年度から島根県設計事務所協会の主催で、県内の工業高校建築科のレベルアップと設計への理解を目的に設計競技(コンペ)が行われるようになった。参加者は主に二年生と卒業設計の住宅に取り組んでいる一部の三年生である。第一回、第二回と毎年CAD部門において最優秀賞を受賞している。卒業設計製図への取り組みの大きな前哨戦として、成果を出しており今後取り組みでいきたい課題である。

第一回学生コンクール

最優秀賞 「結びハウス」

小川 翔太

優秀賞 「江津市空き家改築定住作戦」

長塚 孝至

第二回学生コンクール

最優秀賞 「春よ来い」

山下 陸

優秀賞 「なりたい自分」

長見 里歩

第三回学生コンクール

優秀賞 「縄張りのない家」

丸山 優

協会長賞 「おもてなし」

小西 光

(6) 目指せスペシャリスト(スーパー専門高校)事業

平成二〇年度～二二年度の三年間、文部科学省の「目指せスペシャリスト(スーパー専門高校)」事業の指定校となり、取組みを行った。研究開発の課題は、ふるさとに愛着をもち、コミュニケーション能力に優れた工業人を育成するプログラムである。建築科では①「江津本町の歴史的建造物等を活かしたまちづくりについての企画提案」、②「伝統的技法と社寺建築による景観形成の実践研究」を行った。

①「江津本町の歴史的建造物等を活かしたまちづくりについて、学校独自の企画提案」

ア 現地調査

江津本町の現地に出向き、実際の建築物や街並みを実感し、市の方々と調査を行い、まちづくりの研究に生かし、提案材料とした。

NHKの取材を受け、俳優の石倉三郎さんと一緒に記念撮影



空き家改修工事



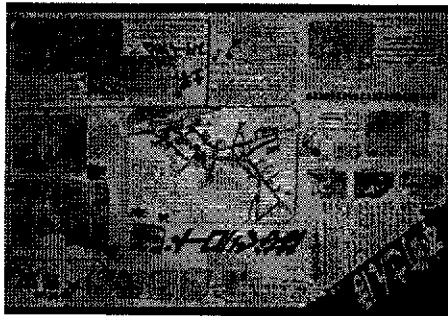
シオラマ製作



空き家改築案



まちづくりの提案



ウ 空き家利用による地域活性化の提案

本町シオラの製作

はなまのシオラ

イ 江津本町のシオラ製作内容

② 「伝統的技法と社寺建築による景観形成の実践研究」

ア 現地調査

建築的伝統技法を学ぶため、江津市内の神社建築を調査。

イ 神楽殿の模型製作とその小屋組みの製作

地域の文化である石見神楽と神社建築の関係から神楽殿について伝統的技法を学ぶため、模型製作を行った上で、その小屋組みの木材加工について技術習得を行った。



神楽殿の模型製作

船務株式会社

工場見字 三菱重工 工業 船務株式会社

機科二四年度入学生 〇〇名

機科一三年度入学生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科六三期卒業生 〇〇名

機科二〇年度入学生 四〇名

機科一〇年度入学生 四〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

機科九期卒業生 〇〇名

【平成一七年度から平成一六年度までの歩み】

【機科】

工場見字 日本製紙ケケカミカル(機)

工場見字 三菱重工ケケカミカル(機)

工場見字 三菱重工ケケカミカル(機)

工場見字 三菱重工ケケカミカル(機)

平成25・3・1

新日本製鐵(株)広畑製鐵所
機械科第六期卒業生三四名

3・26

FMSシステム更新

4・1

産業ロボットシステム更新

4・9

米山典夫 機械科長就任

機械科二五年度入学生三一名

工場見学 広島アルミニウム工業(株)

マツダミュージアム

三菱重工(株)神戸造船所

三菱スチール(株)西日本製鐵所

平成26・3・1

機械科第六五期卒業生一三名

佐々岡節雄 機械科長就任

機械科二六年度入学生二二名

工場見学 ミットヨ(株)志和工場

三菱スチール(株)福山製鐵所

三菱重工(株)神戸造船所

三菱電機(株)福山製作所

マツダミュージアム

一 教育課程の変遷

平成二五年度に学習指導要領が改訂され、これに伴い、教育活動にも時代に即した変化が必要となつてゐる。新学習指導要領では、言語活動の充実、思考力判断力表現力を育む、学習評価の改善、技術者倫理(安全教育)、伝統技術、技術の高度化対応、環境・エネルギー問題、情報ネットワークへの対応など様々な改訂の趣旨が適用された。

これらの新学習指導要領の趣旨を踏まえ平成二五年度入学生の機械科教育課程は、左記のようになってゐる。

学年	コース		工業技術基礎	課題研究	実習	製図	情報技術基礎	生産システム技術	機械工作	機械設計	原動機	電子機械	主な学習内容
	技術	生産											
1年			3			2	2			3			基本的な機械加工など 各種独自ロボット等の製作 機械加工、溶接、制御など 機械部品の作図 コンピュータ制御プログラ作成 電気のしくみ、制御の方法 各種金属材料やその加工法 力の計算、歯車の決定 エンジンのしくみ モータやセンサの制御
2年	技術	生産			4	2	2	2	2	2	2	2	
3年	技術	生産		3	4	3			2	2	2	2	
	技術	生産						2					

産業ロボットシステム

垂直多関節ロボット 三菱電機 RV・2SD・SBY
 無人搬送車 バイナス
 パソコン NEC PC・MK34HEZDC 九台
 導入年月日 平成二五年三月二六日
 数量 五セット

垂直多関節ロボット 三菱電機 RV・2SD・SBY
 PLC 三菱電機 FX3U・64MR/ES
 ロボットシミュレーションソフト

パソコン バイナス 3D・ロボットシミュレータ
 NEC PC・MK33LBZD 一一台

(3) 各種資格試験への取り組み

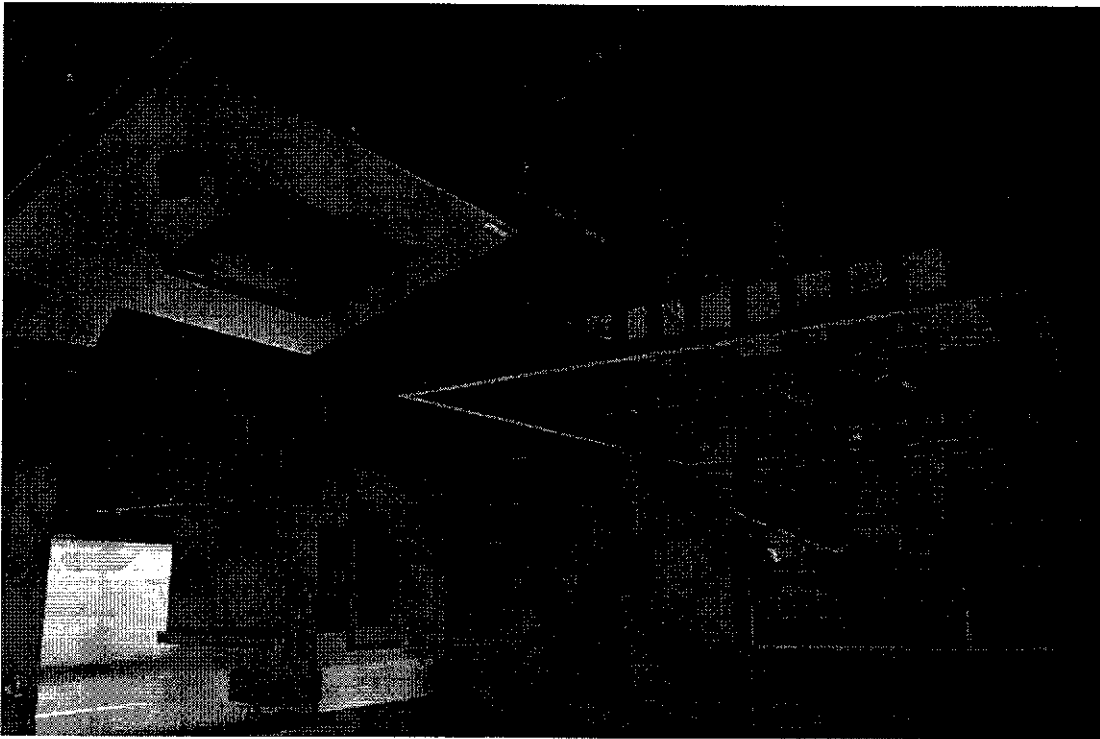
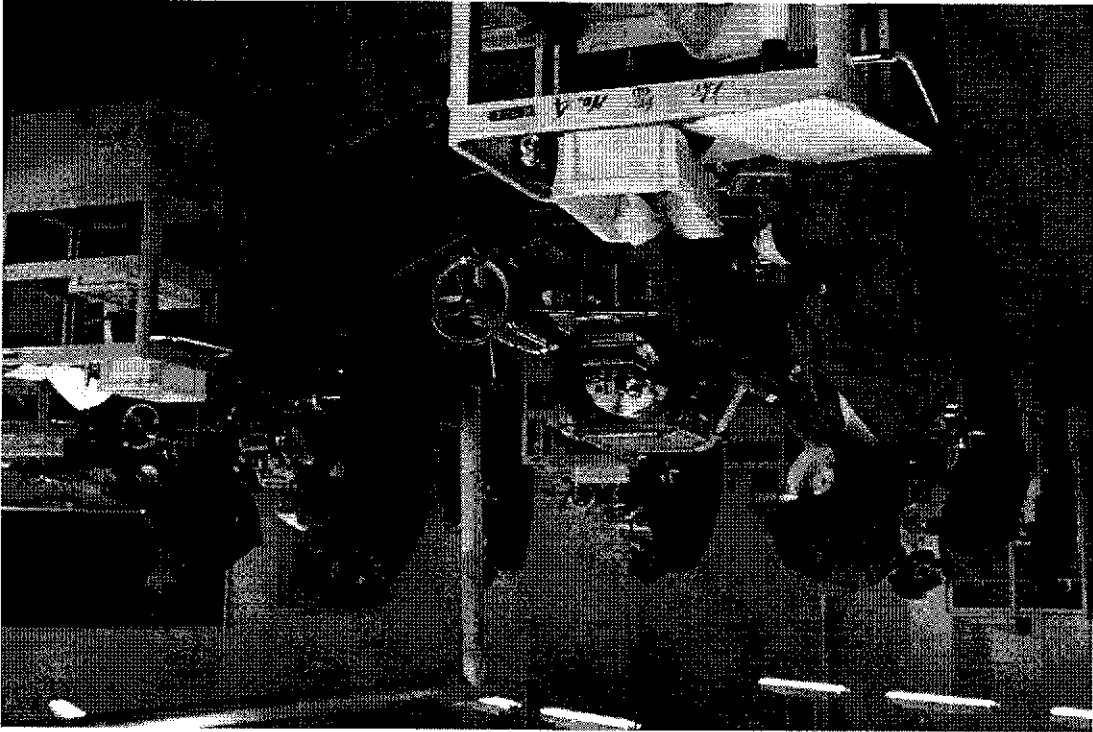
学習意欲の向上や専門科目の授業を補完するため、資格取得に挑戦することは極めて重要である。

また、個人の能力が重視される時代において、取得資格の重要性がますます増している。機械科でも資格取得に力を入れており、資格の種類に応じて授業や課外で指導を行っている。資格は、公的機関の資格と全国工業高等学校長協会主催の資格に大別でき、主なものは次の表の通りである。

資格	対象
計算技術検定3級	1年全員
情報技術検定3級	1年全員
基礎製図検定	2年全員
機械製図検定	3年全員
ガス溶接技能講習	希望者
二級ボイラー技士	希望者
危険物取扱者	希望者
技能検定(旋盤作業)2級	希望者
技能検定(旋盤作業)3級	希望者
技能検定(シーケンス)3級	希望者
パソコン利用技術検定3級	希望者

(4) 機械科の将来像

高度熟練技能者が持つ技術・技能を伝承できる人材の育成に向け、そのベースとなる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた生徒を育成する必要がある。高度な資格を取得することは、高度熟練技能者の技術・技能を伝承する上で、最低限必要となる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることにつながり、系統的な資格取得指導が工業教育を活性化させ、適切な勤労観・職業観の育成にもなるのではないかと思う。



24・2・3

同期発電機特性自動計測制御システム一式
総合電気科第一〇期卒業二三名

神戸製鋼(株) 加古川製鉄所

三菱重工業(株) 神戸造船所

平成24・4・10

3・23
シーケンス制御受験対策ユニット導入
総合電気科二四年度入学生三十七名
工場見学 住友電気工業(株) 大阪製作所

平成26・4・1

26・3・1
総合電気科第一二期卒業生二三名
高月進 総合電気科長就任

パナソニックセンター大阪

三菱重工業(株) 神戸造船所

4・9

総合電気科二六年度入学生二七名
工場見学 住友電気工業(株) 大阪製作所
(株) きんでん きんでん学園

神戸製鋼(株) 加古川製鉄所

25・2・12

直流機特性自動計測制御システム更新
総合電気科第一期卒業生三七名

3・26

FMSシステム更新

産業ロボットシステム更新

一 教育課程の変遷

平成25・4・1

川角哲 総合電気科長就任
総合電気科二五年度入学生十七名

平成二五年度に学習指導要領が改訂され、これに伴い、教育活動

工場見学 住友電気工業(株) 大阪製作所

神戸製鋼(株) 加古川製鉄所

三菱重工業(株) 神戸造船所

総合電気科第一二期卒業生二三名

平成26・4・1

高月進 総合電気科長就任
総合電気科二六年度入学生二七名

工場見学 住友電気工業(株) 大阪製作所

(株) きんでん きんでん学園

神戸製鋼(株) 加古川製鉄所

川角哲 総合電気科長就任

総合電気科二五年度入学生十七名

工場見学 住友電気工業(株) 大阪製作所

4・9

4・1

動の充実を図ることが求められている。

にも時代に即した変化が必要となっている。新学習指導要領では、目標として「工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。」としており、これに沿った教育が求められる。また、評価について、学習指導要領を踏まえ、平成二五年度一年生から四観点別(①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解)が適用されることになった。また、人権・同和教育に関し研究指定校になったため、コミュニケーション能力を高めるために取り組んでいく具体的な方法を考え、言語活動の充実を図ることが求められている。

左表は平成二十五年度の2年生実習内容である。

電力コース	電子情報コース
絶縁抵抗の測定	C言語実習①～②(2回)
回路計の使い方	論理回路①②
単相三線式の実験	コンピュータ①②
LC回路X-F特性	ダイオード①②
光束特性試験	トランジスタ①②
整流回路の実験	ロボット制御①②
RLC直列・並列	シーケンス制御①②③
シーケンス制御①②③④	マイコン制御①②③④
直流電動機の始動と速度制御	新エネルギー実習①②
直流電動機と発電機の実験	HTML言語①②③
ロボット制御①②	
論理回路①②	
新エネルギー①②	
単相変圧器の極性と三相結線	
単相変圧器の特性試験	
ダイオード	
トランジスタ	
電力量計と遮断器	
球ギャップ装置による交流高電圧測定	
直流電位差計による電池の起電力測定	

実習内容としては、一年生工業基礎は同じ内容のものを人数に応じた班編制で行っているが、二、三年生については、二年生からのコース分けに応じた班編制で、それぞれ実習を行っている。また、三年生では実習以外に課題研究という一年間を通じて行うものがある。これは、各班が希望に応じた課題研究テーマを自ら考え、製作していくものである。

つぎに、平成25年度課題研究テーマを掲げる。

自立型倒立ロボット
発煙装置の製作
マイコン電子ルーレットの製作
フロが主のスロット製作
電気工事士の技術力向上
太陽光パネルの特性の測定

(2) 実習設備

最近の傾向として、新技術対応のための実習設備や、整備されて年数のたっているものに関しての実習設備の更新充実に重点が置かれている。

整備された主な実習設備は次の通りである。

- ① シリコン整流器
導入年月日 平成二十年三月
- ② プリント基板作成実習システム
導入年月日 平成二十一年三月
- ③ LAN実習装置
導入年月日 平成二十二年三月
- ④ 電動発電機実験装置
導入年月日 平成二十三年三月
- ⑤ 同期発電機実験装置
導入年月日 平成二十四年二月
- ⑥ 直流機特性自動計測装置
導入年月日 平成二十五年二月

資格・検定名称	H24年度		H25年度	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
計算技術検定3級	37	31	19	19
計算技術検定2級	1	0	6	0
情報技術検定3級	37	25	20	13
情報技術検定2級	5	2	8	4
情報技術検定1級	1	0	0	0
パソコン利用技術検定3級	7	6	10	8
パソコン利用技術検定2級	6	4	8	2
乙種危険物取扱者試験 第1類	4	4	0	0
乙種危険物取扱者試験 第2類	1	0	0	0
乙種危険物取扱者試験 第3類	3	1	0	0
乙種危険物取扱者試験 第4類	29	1	32	4
乙種危険物取扱者試験 第5類	2	2	0	0
乙種危険物取扱者試験 第6類	4	3	0	0
小型車両系建設機械の運転業務	13	13	0	0
高所作業者の運転業務	19	19	5	5
第2種電気工事士試験	44	44	7	5
第1種電気工事士試験	12	0	8	6
工事担任者A13種	16	11	15	7
工事担任者A11種	1	0	0	0
工事担任者D3種	13	5	13	11
工事担任者D1種	5	0	0	0
工事担任者総合種	1	0	0	0

平成二四二五年度の受験者、合格者及び表のとおりである。

取扱者などの各種試験工事に、各種電気工事士、電気技術士、電気主任技術者、危険物取扱者などの各種検定、パソコン利用技術検定、パソコン等学校長協会主催の資格と公的機関の資格とを併せて授業や放課後に指導を行っている。

また、個人能力が重視される時において、取得資格に力を入れている。総合電気科でも資格取得に力を入れており、重要性各種資格試験への取り組み

- ⑦ 大陽光発電計測用装置（パワーキューター）設置（一ヶ月）
- ⑧ WMD 原子力発電機実機型（一ヶ月）
- ⑨ 原子力発電機実機型（一ヶ月）
- ⑩ 燃料電池実機型（四ヶ月）
- ⑪ パンター接機（一ヶ月）
- ⑫ 原子力発電機実機型（一ヶ月）
- ⑬ 放射線測定器（四ヶ月）

また、次のものを購入し活用している。

- ① 導入年月日 平成二〇二年二月
- ② 導入年月日 平成二〇二年二月
- ③ 導入年月日 平成二〇二年九月
- ④ 導入年月日 平成二〇二年九月
- ⑤ 導入年月日 平成二〇二年八月
- ⑥ 導入年月日 平成二〇二年八月
- ⑦ 電子計算機組織
- ⑧ 三相誘導電圧調整器
- ⑨ 導入年月日 平成二〇六年八月

四 総合電気科の将来像

江津地域が持つ、地域資源・伝統産業、企業の内容・技術・製品経営理念などの関わりをとおして、ふるさとに愛着を持ち、コミュニケーション能力に優れた人材を育成することが江津工業高校の、そして、総合電気科の目標となるのではないか。石見地域は産業構造上就業場所が少ない上、広島や近畿圏に交通の便が良くなったことも有り人材流出が続いている。人口減少が地域経済の縮小となり、また、人口減少という負のスパイラルに陥っている。若者が生き生きと働き、企業の事業を伸ばすために必要不可欠となる産業人材の育成のために、総合電気科がその手助けをする必要があるであろう。

また、二〇一一年（平成二三年）三月十一日の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により、未曾有の被害が生じ、東京電力福島原子力発電所は炉心溶融と建屋爆発事故を起こし、世界中に衝撃を与えた。二〇一三年現在、六基ある原子炉のうち一〜四号機は廃炉の途上にある。安全、クリーンと言われた原子力発電が環境に影響を与えている。このことから、総合電気科としては、もっと再生可能エネルギー、自然から取り込むことのできるクリーンエネルギーについても取り組んでいく必要があると考えられる。

